

平成 17 年 11 月 18 日

各 位

埼玉県川口市飯塚一丁目 18 番 8 号
株式会社 アドミラルシステム
代表取締役会長兼社長 丸山 治昭
(コード番号: 2351 東証マザーズ)
問合せ先 常務取締役 青木 邦哲
(Tel:048-259-5111)

平成 18 年 3 月期 中間決算ダイジェスト

Topics

連結： 売上高、営業利益、経常利益及び中間純利益それぞれ増収増益達成。
新規サービス 2 種類 (アフィリエイト、BBR) の立ち上げ順調。
単体：売上高、経常利益において過去最高の業績を記録

【通期業績概要】

当中間連結会計期間 (平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日) における連結売上高は、**過去最高の売上高となる 539 百万円 (前年同期比 122.8%)** となりました。

要因としましては、当社単体において展開しているインターネットサーバサービス事業においては、既存サービスの継続的強化を実施するとともに、セキュリティ強化したモバイル対応 E コマース支援サービス「ショッパー」の提供を開始したことにより、順調に顧客件数を増加させたことによる売上高の増加に加え、デジタルコンテンツ事業のうち、ウェブコンテンツの企画・制作の受注が順調に推移したことによるものであります。

また、新規事業展開におきましても、平成 17 年 3 月より開始しましたプロ野球選手評価格付けサービス「BBR (Baseball Rating)」におきましても、テレビ局や大手ポータルサイトを主として、各メディア様向けにデータの提供を行い、アフィリエイトプログラムサービス「Leaffi」におきましても、クライアントとパートナーの獲得に注力してまいりました。

利益面につきましては、売上高の増加に伴い、**営業利益及び経常利益は、連結・単体共に前年同期と比較して 20%以上の増収となり、連結中間純利益につきましては、24.3 倍増となる 59 百万円 (前年同期比 2543.6%)** と順調に推移いたしました。

連結業績	売上高	経常利益	中間純利益
平成 18 年 3 月期中間	539 百万円 (122.8%)	116 百万円 (123.2%)	59 百万円 (2543.6%)
平成 17 年 3 月期中間	439 百万円 (121.3%)	94 百万円 (104.7%)	2 百万円 (4.3%)
平成 17 年 3 月期	1,004 百万円 (135.9%)	245 百万円 (129.4%)	96 百万円 (89.5%)

【通期見通し】

通期見通しにつきましては、インターネットサーバサービス事業においては、サーバスライナップの継続的強化及び販売促進活動の手を緩めることなく推進していくことにより、当該セグメントの売上増強を図ってまいります。

また、デジタルコンテンツ事業につきましては、(株)スポーツレイティングスより来春の提供を予定しているオンラインゲーム「ドリームベースボール」の提供ならびにアフィリエイトプログラムサービス「Leaffi(リーフィ)」のクライアント及びパートナーの獲得等により、事業全体の業容拡大に向け積極的にサービス展開を図ってまいります。

それらの事業活動計画のもと、連結業績見通しにつきましては、平成17年5月13日に発表いたしましたとおり、連結売上高1,127百万円(前年同期比112.3%)、連結経常利益285百万円(前年同期比116.3%)を予定し、連結当期純利益につきましては、前年同期比156.3%となる150百万円を予定しております。

次期における1株あたり配当額につきましては、500円を予定しておりますが、当社グループの方針として、配当性向20%~30%を一応の目安とし、1株あたり当期純利益の増加に伴って、1株あたり配当額につきましても継続的向上に努めていく方針であります。

なお、当社グループは、前連結会計年度におきまして、M&Aの実施により2社を子会社化し、1社を創立いたしました。当期におきましても、グループ相互間の連携を強めていくとともに、さらなる業容の拡大および新規事業の参入を目的として、M&Aを中心とした資本提携および業務提携を積極的に実施していく方針であります。

なお、本日発表の業績予想にはM&Aによる業績の変動は見込んでおりません。

参考：平成18年3月期通期業績予想(連結・単体)

	売上高	経常利益	当期純利益
連結	1,127百万円(112.3%)	285百万円(116.3%)	150百万円(156.3%)
単体	855百万円(106.3%)	270百万円(113.9%)	146百万円(106.6%)

(注)本業績予想は、現在入手可能な情報から、当社の経営者の判断に基づき作成しております。したがって、実際の業績は様々な要因により本業績予想とは異なる結果となり得ることもご承知おきください。

また、公表された直近の予想値に対し、売上高が10%、経常利益もしくは当期純利益が30%以上乖離した修正予想値が算出された場合には、業績予想の修正を公表することといたします。

なお、詳細につきましては、当社ウェブサイト(<http://www.asj.ad.jp/>)に掲載しております「平成18年3月期中間決算短信(連結)」及び「平成18年3月期中間個別財務諸表の概要」をご参照ください。